



※清永啓太さん（地域おこし協力隊）のイラストを掲載します。季節で変わる予定ですので、お楽しみに！

上白石萌歌さんが伊佐を旅する

9/22・23



女優の上白石萌歌さん（鹿児島市出身）が伊佐を旅して、まちの魅力を体験しました。

曾木の滝公園や布計小学校跡などを訪問した上白石さんは「みなさんの温かいおもてなしと豊かな自然、おいしい食べ物にとても癒されました。今度はプライベートで家族と訪れたいです」と話しました。

旅の様子は、「月刊旅色」のホームページ (<https://tabiirro.jp>) でご覧いただけます。紙冊子は11月下旬に発行予定。

オンライン工場見学

9/29



山野小学校5・6年生が日産車体株式会社湘南工場（神奈川県平塚市）をオンライン上で見学をしました。工場見学は、湘南工場に勤務する平田和宏さんが同校卒業生であることが縁で実現しました。

車体の組立や塗装などの製造工程をクイズ形式でわかりやすく解説し、児童の質問にも平田さんが丁寧に回答していました。中村伊里さん（6年生）は「空飛ぶ車が開発されていることに驚いた。はやく乗ってみたいです！」と話しました。

カラフル看板 障がい者等基幹相談支援センター

10/1



障がい者等基幹相談支援センターを、大口庁舎1階の福祉課窓口に開設しました。

同センターの看板は、生活介護事業所 彩（いろどり）の利用者らが手書きで制作した作品です。ポップなデザインには、「誰でも気軽に相談窓口に来れるように」との願いが込められています。

障がいのある人やその家族等の地域生活に関する支援を行います。お気軽にご相談ください。

秋の実り 新米できました！

10/14



市内各地の田んぼで、稲刈りが行われています。

10月14日、針持小学校近くの田んぼでは、保護者や老人クラブのみなさんの協力のもと、児童が稲刈りを体験しました。

広報いさ6月号で表紙を飾った濱崎冨亮さん（4年生）は「鎌で手を切らないよう注意しながら作業したのでとても疲れました。みんなでお米を食べるのが楽しみです！」と元気に話しました。

西之表市から職員派遣

10/4



令和3年7月豪雨災害の復旧業務のために、西之表市職員（技師）が派遣されています。合計4人の職員が交代で農政課耕地係に勤務し、災害復旧業務に従事していただきます。

10月4日の辞令交付式では、心強いご支援に対し、橋本市長が感謝の意を述べました。任期は12月12日まで。

（写真左から）高橋 英樹さん
植村 秀昭さん

「宝くじの助成金」で整備しました



本年度、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に実施しているコミュニティ助成事業において、平出水校区コミュニティ協議会が備品等の整備を行いました。

今後も地域コミュニティ活動を充実させ、地域活性化を図っていきます。



池原武志 遺作展



10/9~28

7月31日に急逝した日本画家・池原武志さん（大阪府出身）を偲ぶ遺作展が、大口ふれあいセンターで開催されました。池原さんは2001年度芸術文化交流員として、伊佐を拠点に創作活動を続けられました。

遺作展は、生前交流があった市民有志等が企画したもので、大阪からご両親も観覧に訪れて、池原さんの作品を観ながら故人を偲びました。

ご両親は「市の福祉行政に役立ててほしい」と、市に寄附金を贈呈しました。

沖縄の自然を感じて

伊佐市出身の写真家高松飛鳥さんが「となりのウミガメ」を出版し、市内小中学校などへ同写真集 61 冊を寄贈しました。

この写真集は、沖縄県座間味島の美しい海に生きるウミガメの貴重な生態を楽しめるほか、漂流ゴミなどの環境問題についても学習できる内容です。



9/29

大口明光学園高等学校 2 年 B クラスの生徒らが市長を訪問し、曾木の滝公園復旧のための寄附金を贈呈しました。

この寄附金は、同クラスの有川和子さんの新聞投稿をきっかけにチャリティ写真展が開催されたことを受けて、「私たち学生もできることをしよう」と校内に呼びかけて集められた募金です。

横山莉子さんは「多くの方が快く協力してくれました。少しでも地域のお役に立てたらうれしいです」と話しました。

曾木の滝公園の復旧に役立てて



10/11

観光ボランティアガイド「伊佐の風」のみなさんが市長を訪問し、寄附金を贈呈しました。この寄附金は、今年 7 月豪雨災害で被害を受けた曾木の滝公園の「チャリティ写真展」で集められた募金。

山下明世会長は「たくさんの方々の協力に感謝します。少しでも公園の復旧・復興のお役に立てれば」と話しました。

11 月 14 日から 23 日まで、同公園内で写真展を開催する予定。

防犯グッズ贈呈



伊佐湧水地区防犯協会は、10 月 11 日から 20 日までの「全国地域安全運動」期間に合わせて、市内の各小学校に見守りベストと防犯のぼり旗を贈呈しました。

冬は日没時間がはやくなります。子どもたちの見守りや、運転時のはやめのライト点灯などにご協力をお願いします。

コロナ終息を願う ボトルキャップ

9/26



大口東小学校運動会閉会式後に「希望のペットボトルキャッププロジェクト」が行われました。

児童と保護者らが協力して、コロナ禍の生活を表すボトルキャップを貼り付けて「おおくちひがし」の巨大看板をつくりました。

ボンドが完全に固まってから、校門に掲げることです。